



MDF2025

次世代医療システム産業化フォーラムの取り組み

大阪商工会議所

産業部ライフサイエンス振興担当

大阪商工会議所中期ビジョンの
戦略分野に位置づけ、
スポーツ・健康・医療の
ウェルネスビジネス創出を
シームレスにサポート

2. ウェルネス
ビジネス創出

- 「創薬」「医療機器」「スポーツ」
でマッチングから販路開拓まで包括
支援
- 各領域の融合による新ビジネス創出
- 多国間連携で医療系スタートアップ
の発掘・育成
- 医療機器ビジネスの途上国市場開拓
支援

挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン

概要版

大阪の国際競争力強化と持続的成長

2025年大阪・関西万博を活かしながら地球環境や人類のウェルビーイング、社会課題解決に貢献するイノベーティブな産業の集積をめざす
「価値創出・課題解決プロジェクト」、大阪経済を支える中小企業の成長を後押しする「経営基盤強化パッケージ」の総計41事業を展開

ユーザーをも巻き込んで
未来をデザイン

2025年大阪・関西万博・スーパースティ

- 万博に向けた機運醸成・参画の支援
- 大阪ヘルスケアパビリオンへの出展を支援
- 都心部での魅力発信とビジネス交流を支援

若者活躍・挑戦応援

価値創出・課題解決プロジェクト

1. ものづくり×
イノベーション

- 次世代テックフォーラムで異分野・異業種・同業種の連携促進
- 全国の商工会議所と連携し、スタートアップと中小企業をマッチング
- 町工場同士の横請けに加え、スタートアップとの試作開発で価値創出加速
- 繊維・アパレル分野のイノベーションを促進、発信

2. ウェルネス
ビジネス創出

- 「創薬」「医療機器」「スポーツ」で
マッチングから販路開拓まで包括支援
- 各領域の融合による新ビジネス創出
- 多国間連携で医療系スタートアップの
発掘・育成
- 医療機器ビジネスの途上国市場開拓支援

3. 都市魅力
再構築

- 万博を見据え、なんば駅前広場、あべの
きた、御堂筋など整備が進む都市空間を
活かした都市魅力の発信
- グレート・ミナミの産業振興、観光
交流等の活性化を支援
- 食や文化を活かした観光の高付加価値
化による、インパウンドの受入れ促進
- 商店街観光の振興

4. まちなか
リビングラボ

- 「未来社会の実験場」を大阪全体で
「まちなかりビングラボ」として展開
- 大阪府・大阪市・大商による「実証事業
推進チーム大阪」で、国内外へのPR
強化、都心シンボル空間での実証支援を
拡充

経営基盤強化パッケージ

5. 稼ぐ力強化

- 本部・支部による資金繰り支援等の
経営相談
- 中小企業活性化協議会、事業承継・
引継ぎ支援センターによる事業再生・
事業承継支援の強化
- 事業の再生・承継の支援強化
- デザイン思考を活用した新事業創出支援

6. 人的資本強化

- 大学等と連携した社会人の学び直し
(リスキリング)支援
- 女性・外国人等多様な人材の活躍推進
- 大学と企業の情報交換会、若手人材の
ネットワーク構築等、若手人材の
確保・活躍推進
- 講座、検定、大阪企業家ミュージアム
で、中小企業の人材育成を支援

7. 商流創造・
グローバル展開

- 「大阪勤業展」「買いまっせ! 売れ筋商品発掘市」等各種商談会による
販路開拓を支援
- 全国の商工会議所による「ビジネスモールを活用したオンライン商談支援
- 中小企業の万博参画を促す、万博関連受発注支援サイトの運営
- 中小企業のアセアン地域進出を支援するプラットフォーム運営

インフラ整備

提言・要望

ウェルネスビジネス創出プロジェクト全体像

- 創薬や医療機器、ウェルネス、スポーツの各『基幹プラットフォーム』において、産学連携や企業間連携等、共創を進める。
- 各プラットフォーム相互の共創も進め、スタートアップや多様なものづくり、デジタルテック、環境テックを有する企業等の参画により、『融合分野』における取り組みを強化し、『これからの健康・医療』に求められる製品、サービス、プロジェクトの創出を加速する。
- 『Well-being 融合領域イノベーション会議』を開催し、広く『融合』の重要性を周知、異分野間の意見交換や企業の『共創』に関する意見把握を実施する。
- 多彩な業種、規模の企業が新たなビジネスチャンスを得るとともに、健康医療の課題を解決することにより社会貢献を実現する。

融合分野の拡大（今後注力する新たな取り組み）＋【【5】「Well-being融合領域イノベーション会議」の実施】

【1】未来の医療

患者や医療従事者の負担を軽減する『優しい病院』や『環境対応の医療』の実現に必要な、製品・設備・システム、サービス等の開発を促進

【3】途上国の医療課題解決

途上国の健康・医療の課題を日本のものづくりで解決するとともに、日本企業の新市場を開拓

【2】未来のウェルネスビジネス創出

万博大阪館中小企業展示の機会活用やうめきた等での実証・実装を通じ、『日常に溶け込むヘルスケアビジネス』創出や、『スマート・ウェルネス』を実現

【4】グローバルコミュニティ形成

MedTech Actuator連携によりスタートアップの発掘、育成を進めるとともに、スタートアップ・エコシステム確立のための国際的なネットワークを構築

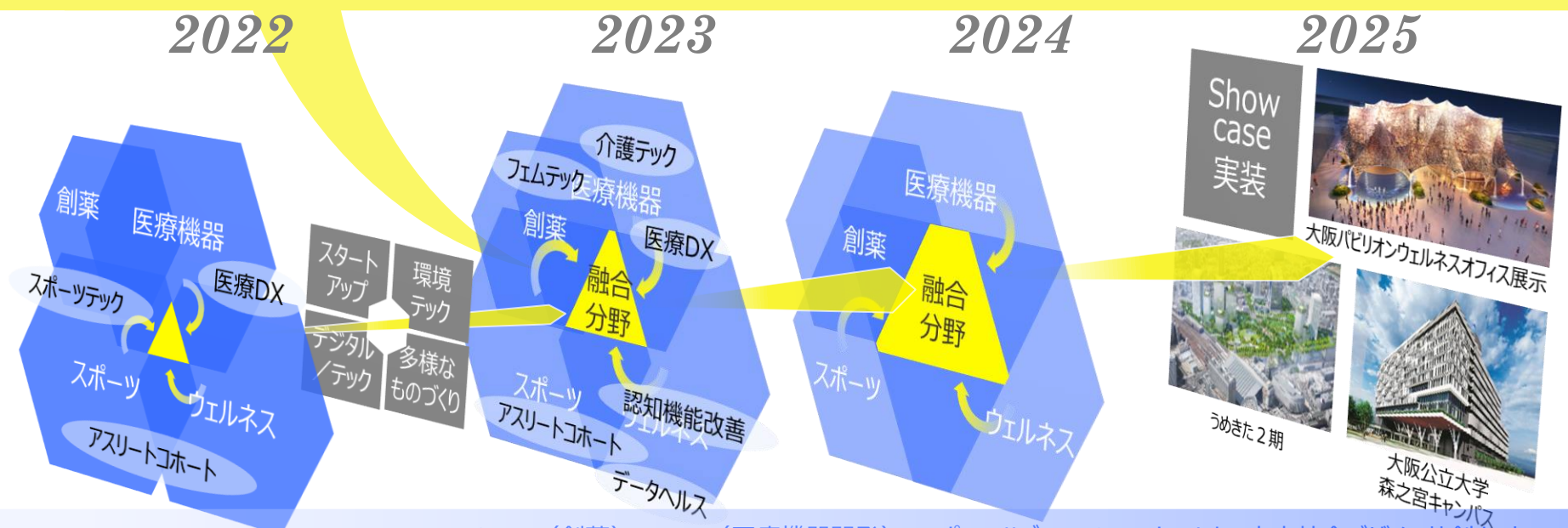
Purpose

イノベーション加速と新ビジネス創出

健康医療産業の輸出産業化
スタートアップの創出・成長
多様な企業のビジネスチャンス
ものづくり企業の変革

国内外の医療課題の解決

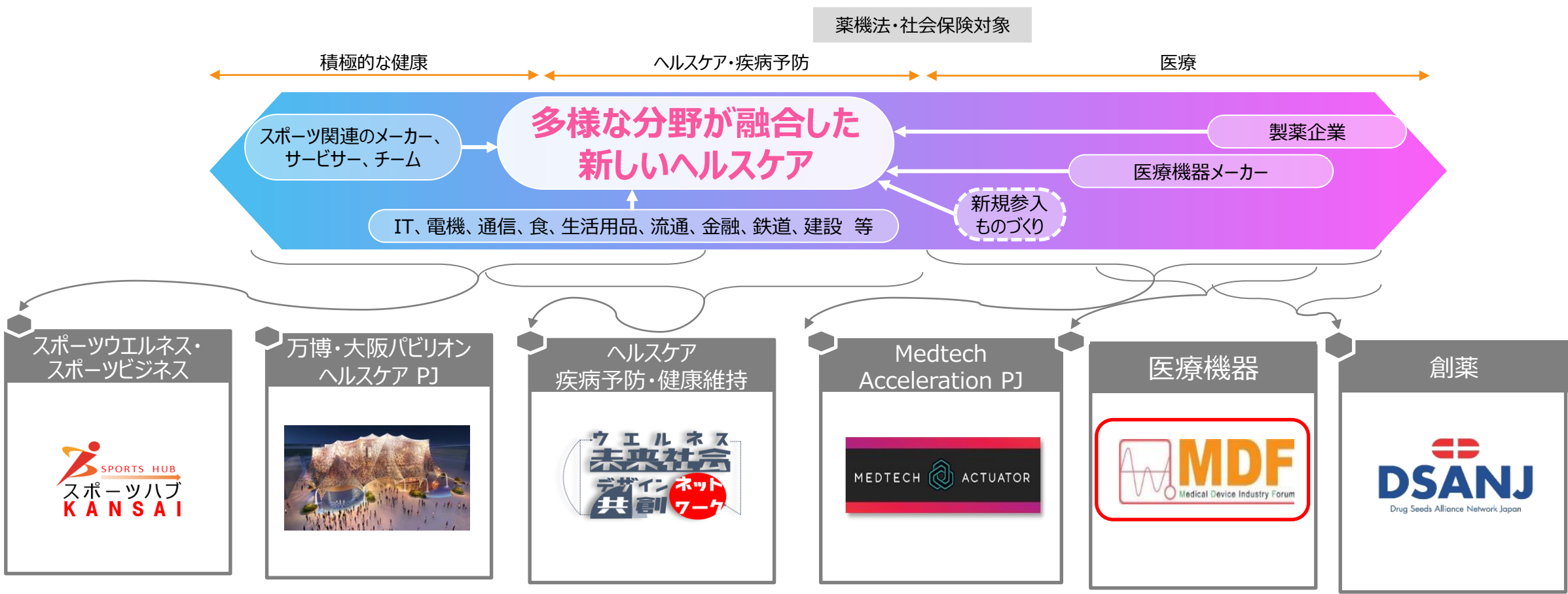
健康寿命の延伸
グローバルヘルスへの貢献



基幹プラットフォーム

DSANJ（創薬）、MDF（医療機器開発）、スポーツハブKANSAI、ウェルネス未来社会デザイン共創ネットワーク
大阪商工会議所 次世代医療システム産業化フォーラム（MDF）

最先端医療のための創薬、医療機器開発から、未病予防対策のヘルスケア（非医療）、スポーツによるカラダづくりまで、幅広い範囲における研究開発支援・事業化支援を実施



大阪商工会議所は、全国の医療機関、大学、研究機関、企業のネットワークを有し、産学連携や、企業間連携、を促進する事業を実施。国内外の市場展開を対象にした個別の事業支援も多数行っている。

医療機器等開発の総合支援プラットフォーム 医工連携、企業間連携、事業化支援促進

1. 事業目的

- 異業種からの医療への新規参入促進による新ビジネス創出
- 医療機器分野のイノベーション創出エコシステム

2. 特長

- 全国初の医工連携プラットフォーム（2003年～）
- 全国の病院・大学・研究機関・企業対象のプラットフォーム
- あらゆるステージにおける事業化支援を可能にする体制
- 欧米アジアとのグローバルネットワーク構築

3. 主なプログラム

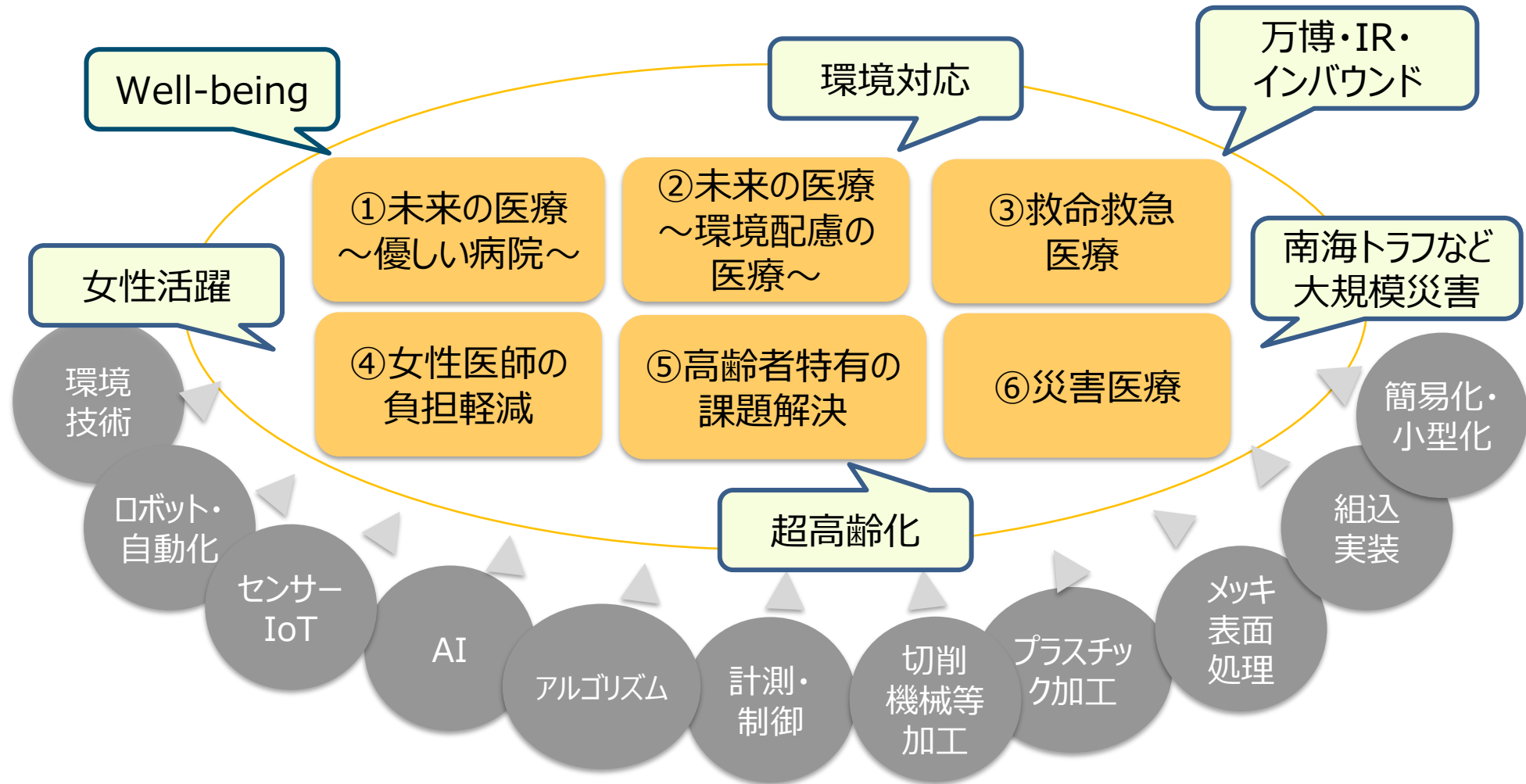
- 医工連携マッチング事業：年間40件以上の医療現場ニーズ・シーズを企業に対して発表（2024年度:41件）
- 事業化コンサルティング：20名超の専門人材があらゆる相談に対応（2024年度:301社/462件）
- 医療機器等ユーザー評価事業：医療従事者が開発・試作品等を評価（2024年度:7件）
- 販路開拓支援：医療機器メーカー・販売会社に対する売込商談会を実施（2024年度:51件商談）

全国唯一の医療機器等開発エコシステム構築



社会的なテーマに連動した医療ニーズにも注目し、さらなる中小企業の参入促進を図る

- **医療機器事業における新たな視点**
 社会が求めるテーマに関連する医療現場ニーズに注目
- **新たな視点**
 『Well-being』
 『環境』
 『女性活躍』
 『南海トラフ』等災害
 『万博・IR・インバウンド』
- **中小モノづくり企業の活躍**
 医療そのものではなく、医療を提供する環境や、病院外にも、多くのニーズが潜在。
 こうした課題解決は、
 中小企業のモノづくりが必要になる場合が多い。



今後注目する医療現場ニーズを解決するには、
 新たなテクノロジーの導入だけでなく、中小ものづくり企業の技術がより重要となる

貴社の技術を医療・介護・福祉へ活用！ **社会課題の解決に貢献！**

本フォーラムで、多様な企業が活躍中！

- ・新規事業を探索している中堅・大企業
- ・小ロット多品種製造を得意とする中小企業
- ・オンリーワンの部素材・加工技術を持ったモノづくり企業
- ・現場の声を速やかに製品に反映できる機動力を持った企業
- ・医療機器開発・事業化をサポートするサービス業者

上記のほか、医療機器メーカー・医薬品メーカーも参加！



Q

医療分野のビジネスに参入したいが、どのように進めていけばよいのでしょうか？

自社の技術をどのように医療分野等で活用できるか、具体的な参入事例・方法をご紹介します、参入をサポートいたします。

A

どのように参入すべきかお悩みの企業様はまずはご相談ください！

本フォーラムに入会するとこんなメリットが！

- ・医療現場の課題・ニーズを把握することができる！
- ・個別に医療従事者と議論をできる場が得られる！
- ・普段目にすることのできない医療機関の中が見られる！
- ・開発中の製品を医療従事者に評価してもらえる！用途開発も！
- ・医療現場のみならず開発に取り組む企業とも知り合える！

対象企業

健康・医療・介護機器開発等に関心がある企業(これから参入予定の企業を含む)。企業規模、事業内容、所在地に制限はありません。

参加料・サービス対応表

会員区分	参加費（年額,税込）		主なサービスの利用可否				
	主催・共催 会議所会員	左記 非会員	例会	分科会	事業化 支援	ユーザー 評価	病院 見学会
正会員	¥140,000	¥195,000	○	○※2	○	○ 有料	○ 有料
正会員 （資本金 3 千万円以下）	¥120,000	¥165,000					
正会員 （ベンチャー企業※1）	¥70,000						
分科会 会員 （料金は一つの分科会あたり）	¥70,000 ※2025年度無料		—	○※2	○ 正会員優先	—	○ 有料 正会員優先
特別会員 （大学・医療機関・公的研究機関等）	無料		○ 面談不可	○※2	—	—	—

- ・法人毎にご登録下さい。（参加登録した企業の子会社、関係会社の方も別途上記参加費が必要です。）
- ・上記の参加費で年間すべての例会に、参加企業の方であれば何人でもご参加いただけます。但し、交流会等は実費をその都度申し受けます。
- ・正会員につき、後期入会の場合は上記金額の半額となります。
- ※1 創業 5 年未満かつ資本金3億円以下で、他の事業会社が単独で発行済株式総数または出資総額の2分の1以上を所有または出資をしていない企業。
- ※2 分科会はイベント毎に別途参加費を設ける場合があります。

参加数は分科会会員含め のべ1,977社4,783名！

※2025年3月時点

区分		参加企業・参加者数			
企業正会員数 (企業正会員等、有料参加企業)		123社	(有料会員)		
会員登録者数 (企業正会員、医療機関等の特別会員の登録者)				693名	
分科会	デジタル医療	677社		1,726名	
	看護・在宅医療	506社		986名	
	介護・福祉	430社		828名	
	再生医療等	241社		550名	

医工連携マッチング例会実績 (2025年2月時点)

ニーズ・シーズ提案 ⇒ マッチング ⇒ さらに進展

	課題提案数 (例会発表案件数)	マッチング数 (関心社・研究者との 個別面談数)	面談後進展数 (左記マッチング からの発展)
2024年度	41件	112件	498件
累計 (2003年開始時～)	999件	3,446件	

MDF事業化実績

事業化
(上市等)
74件

※MDF関連事業での
事業化 16件を含む

<主なサービス> ※他にも充実した支援を提供！

医工連携マッチング

医工連携マッチング例会を年間7回開催。
特別例会1～2回、全国から厳選した**40
件程度の共同開発案件**等を医師、研究者等から企業に対して発表



事業化コンサルティング

薬事・研究開発・マーケティング・産学連携など**専門知識が豊富な20名超の事業化
支援アドバイザー**があらゆる相談に対応



プロトタイプ開発支援

国の研究開発事業への公募をめざすプロトタイプの開発に対して、**開発資金の補助や
有効性・市場性等の検証支援**などを実施



医療機器等ユーザー評価事業

**臨床現場で従事している医療従事者（医
師、看護師、臨床工学技士など）**などに開
発中の製品の改良につながるコメントを实际
に聞く機会を提供



販路開拓支援

医療機器メーカー・販売会社に対して、売り
込みたい自社の製品・試作品や部素材・技
術を提案する商談会を開催するほか、**学会
への共同出展**を実施



海外展開支援（途上国市場支援）

**途上国や新興国の海外の医療機関等と
連携**してマッチングセミナーを開催し、海外
の市場展開などを支援



海外展開支援（MTA）

海外アクセレーターと連携し、国際競争
力を持つ医療・ヘルスケア分野のスタート
アップ、中堅・中小新規参入型企業の育
成・事業化を支援

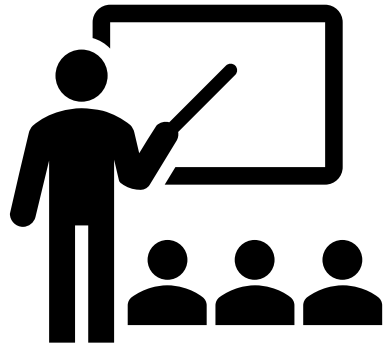


医療機器開発人材育成支援

企業内の開発・事業化人材の育成のため、
**開発・事業化課題の解決に関するノウハウ
を学ぶ**講座を開催



<一般的な流れ>

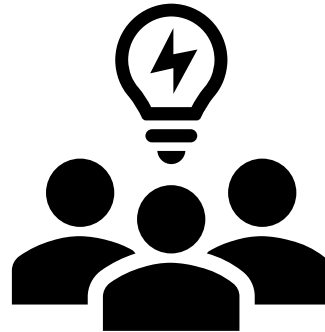


①医療現場のニーズ収集 (年間7回程度)

- 全国各地の医療従事者等が企業に対して現場ニーズ等を発表
- 各回5～6名程度が登壇し、昨年度は41件のニーズを提示



事務局へ
面談希望連絡



②個別面談(企業×医療従事者)

- 専門知識を有するアドバイザー同席のもと、ニーズを解決するための提案を有する企業と発表者の個別面談を実施。
- 昨年度の実績は112件。



③共同研究・開発をスタート

- 合意すればNDAの締結等を行ったのち、共同研究・開発をスタート
- 専門アドバイザーが相談に応じ、面談後の事業化をサポート

【モデレーター】次世代医療システム産業化フォーラム座長代表 楠岡英雄氏（独立行政法人国立病院機構理事長）

◆挨拶・事務局説明 13:00～13:20

◆第一部：最新情報提供セッション（13:20～14:20）

13:20～14:20 「経済産業省における医療機器産業政策について」

経済産業省 医療福祉機器産業室長 遠山毅氏

～休憩（10分）～

◆第二部：共同開発提案セッション（14:30～16:45）

14:30～14:55 「新規の内視鏡施行同時に食道内圧を測定する方法の開発」

岡山大学病院総合内科 助教 杉原雄策氏

14:55～15:20 「立体描写性を高める腹腔鏡上方照明システムのための照明デバイスの開発」

愛媛大学大学院 医学系研究科 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 講師 高井昭洋氏

15:20～15:45 「リンパ浮腫患者に対するリンパ管機能測定器の開発」

国立がん研究センター中央病院 形成外科 がん専門修練医 田代絢亮氏

～休憩（10分）～

15:55～16:20 「フレキシブル基板を用いた視覚誘発電位用光刺激装置の開発」

山口大学医学部附属病院 脳神経外科講師（学術研究員）井上貴雄氏

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学講座 教授鈴木倫保氏

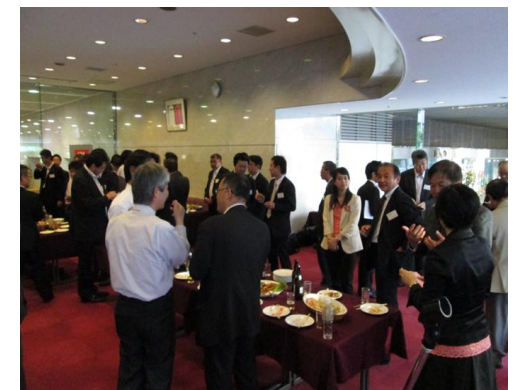
16:20～16:45 「医療機器電源コードの無線化」 大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 楠本繁崇氏

■交流会：17:00～18:00



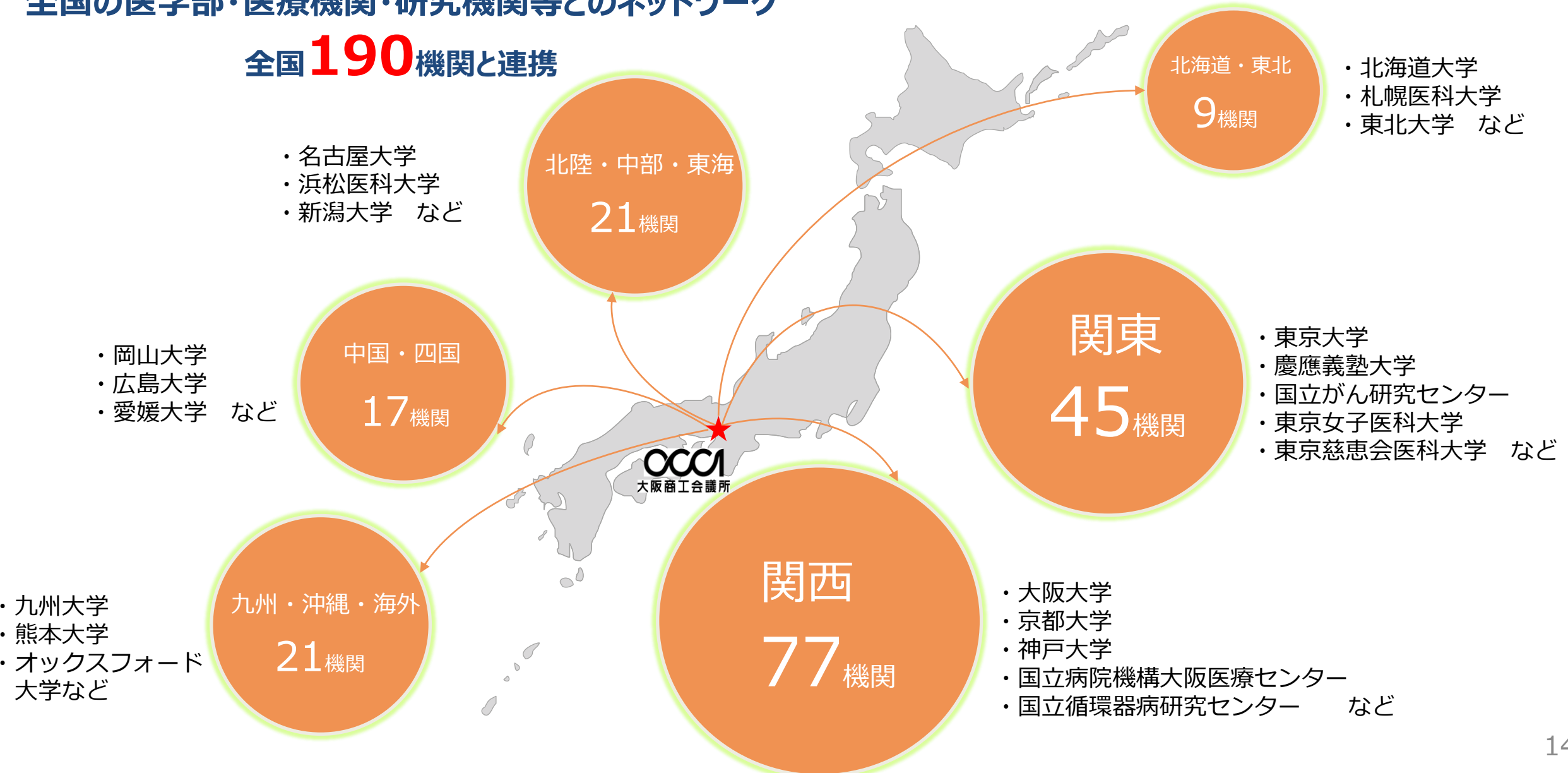
▲ 例会の様子

▼ 交流会の様子



全国の医学部・医療機関・研究機関等とのネットワーク

全国 **190** 機関と連携



社会課題に連動した医療ニーズにもとづく医療機器等の創出 取り組み実績①

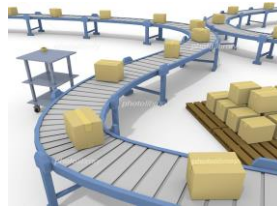
「いのち輝く未来社会」実現に向けた共創カンファレンス ～『これからの社会が求める医療』をテーマに社会課題解決への挑戦を～

日時 2023年10月11日(水) 13:00～17:50
場所 大阪商工会議所 7階国際会議ホール
参加者 159社・機関 218名
内容 基調講演・共同開発提案・パネルディスカッションなど

医療従事者による共同開発提案(一例)

救命救急

- ▶ 2025 大阪・関西万博で発生し得る救急医療事案における課題と対策



災害医療

- ▶ 災害急性期における、災害医療需要を空撮で調査する方法の開発



優しい病院

- ▶ 心臓血管外科の緊急手術受け入れ先をすぐに見つけてくれる“患者-病院マッチングシステム”の開発



「いのち輝く未来社会」を実現するジェンダード・イノベーション ～女性医師活躍を支える医療機器の共創カンファレンス～

日時 2024年9月30日(月) 13:30～17:15
場所 大阪商工会議所 7階国際会議ホール
参加者 72社・機関 101名
内容 基調講演・共同開発提案・パネルディスカッションなど

女性医師による共同開発提案

脳神経外科

- ▶安全・簡便なMRI検査を可能にするMRI対応型生体情報モニターとソフトストレッチャー



外科

- ▶鏡視下手術助手用足台の改良



消化器内科

- ▶女性内視鏡医が末永く内視鏡を握り続けるための課題解決



大商×大阪けいさつ病院連携セミナー「スマートホスピタル実現に向けて」

日時 2024年10月29日(火) 16:10~17:20
場所 大阪商工会議所 7階国際会議ホール
参加者 200社・機関 295名
内容 基調講演・医療現場実証提案

プログラム

基調講演

- ▶「大阪けいさつ病院 スマートホスピタル構想」
社会医療法人 大阪国際メディカル＆サイエンスセンター
大阪けいさつ病院 院長 澤 芳樹 氏

実証提案

- ▶「スマートホスピタル実現に向けた新病院での実証」
社会医療法人 大阪国際メディカル＆サイエンスセンター
大阪けいさつ病院 法人事務局 医療情報部 次長 山本 剛 氏

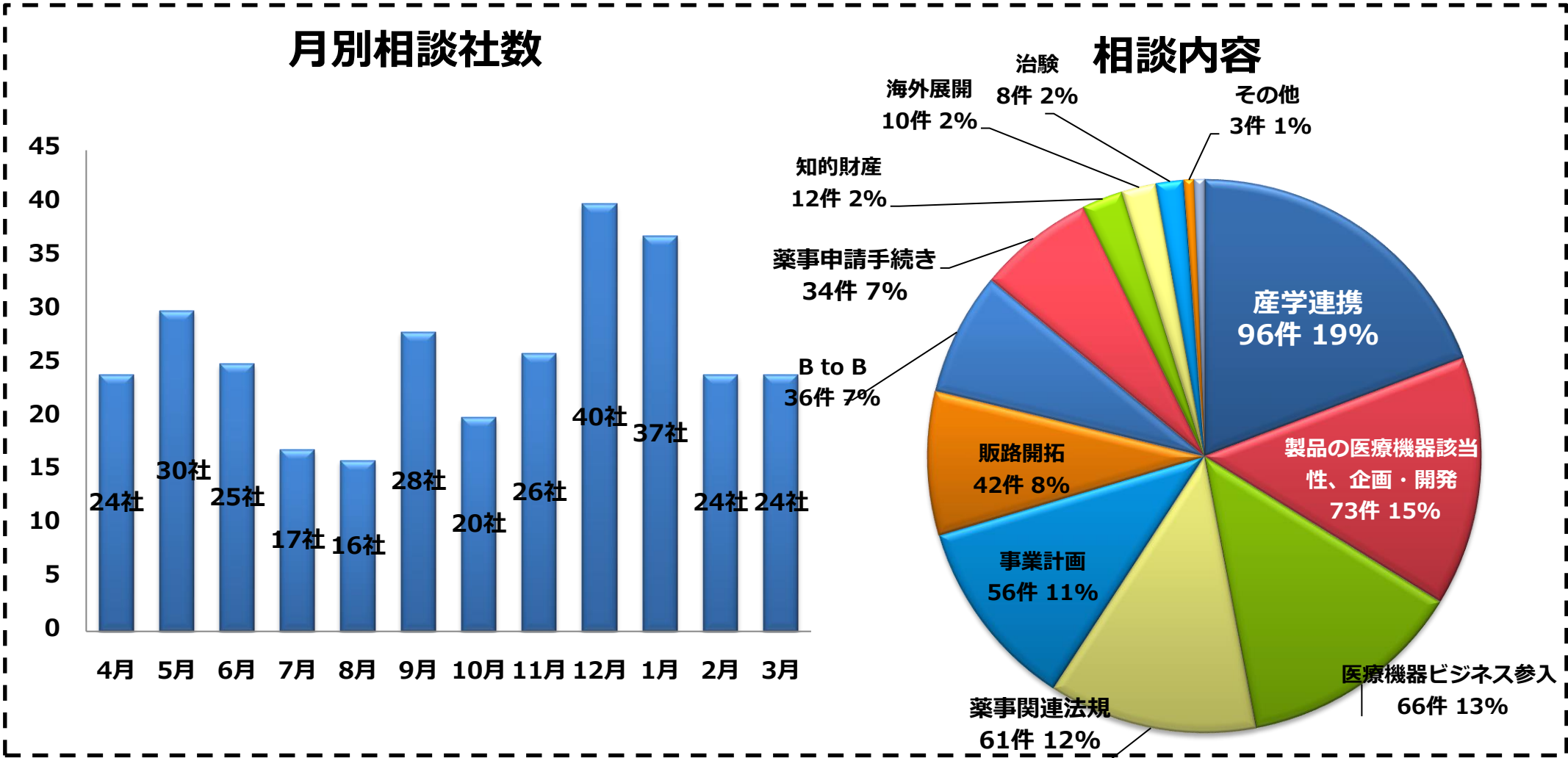
マッチング

- ▶提案：12件、マッチング11件



各企業が医療機器の開発や事業化を推進する際に直面する課題について専門家が個別にアドバイスする機会を提供。

2024年度 事業化相談社数合計 311社(500件)（2024年4月～2025年3月）



医療・介護現場のニーズに即した製品開発の促進を目的に、医療・介護従事者に開発中の製品をみてもらい、改良・開発につながるコメントをもらう機会を提供。

2024年度実施例

No	実施日	案件名	評価機関
1	12/9	下肢リハビリ機器	大阪医療センター
2	12/18	眼科用吸引機器	大阪医療センター
3	1/8	電源装置	大阪医療センター
4	2/5	カテーテル関連機器	大阪医療センター
5	2/19	上肢リハビリ機器	大阪医療センター
6	3/3	カテーテル関連機器	大阪医療センター
7	3/24	カテーテル関連機器	大阪医療センター



評価者の例

医師、看護師、放射線技師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、手術部医師、救命救急士、臨床工学技士、言語聴覚士など

異業種から医療機器産業へ参入、参入して間もない中小企業等にとって課題となる医療機器メーカー・商社との連携を支援するための売込商談会を年間2回実施。中小企業単独ではアクセスが困難な企業との橋渡しを実現。

＜一般的な流れ＞



＜開催実績＞

製品・試作品編

- 商談申込 : 14社38件
商談実施件数 : 24件
買い手企業 : 4社
- ・アダチ
 - ・オルバヘルスケアホールディングス
 - ・カーディナルヘルス
 - ・三笑堂



部素材・技術編

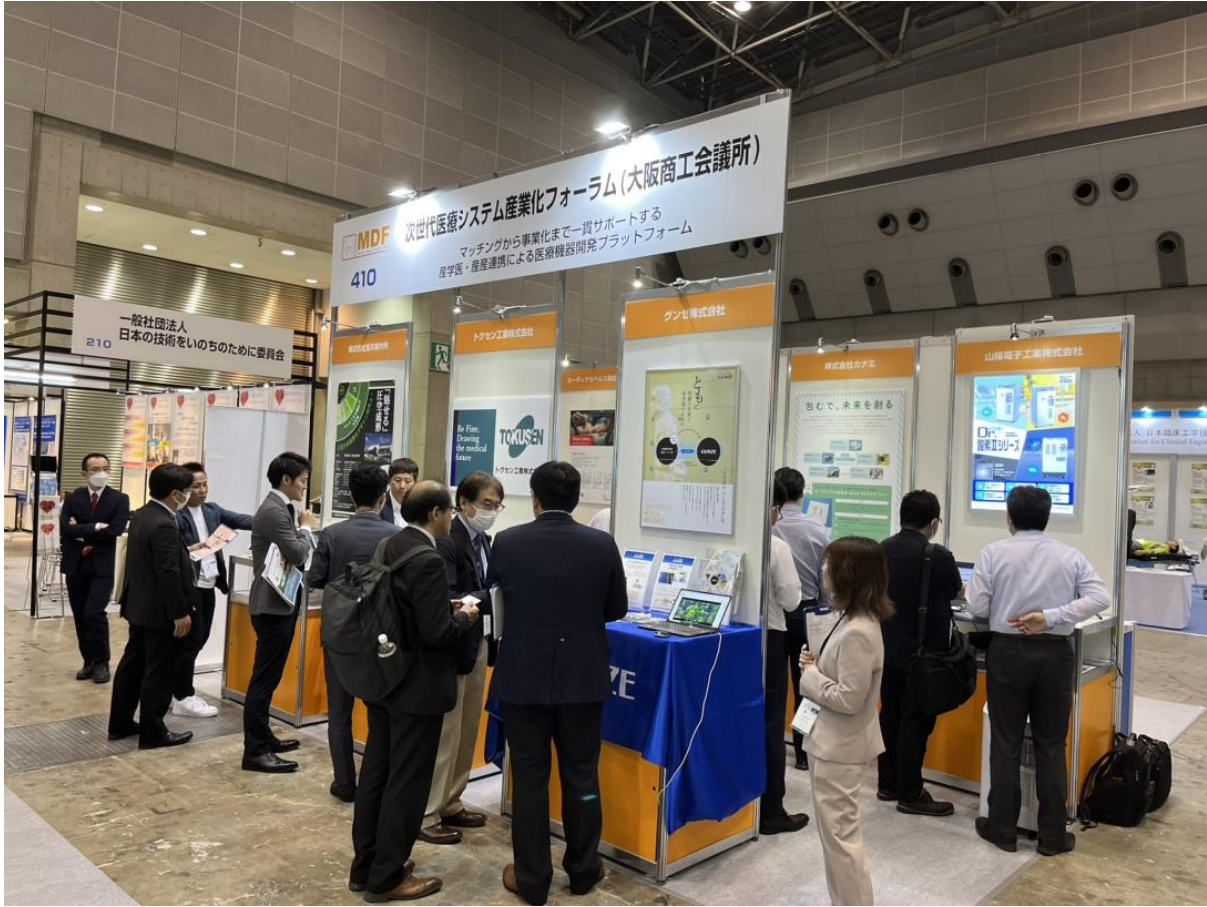
- 商談申込 : 23社51件
商談実施件数 : 27件
買い手企業 : 5社
- ・旭化成メディカル
 - ・カイゲンファーマ
 - ・常光
 - ・大研医器
 - ・ビー・ブラウンエースクラップ



Medtec Japan2024に次世代医療システム産業化フォーラムとしてブースを出展。MDF会員企業 7 社と共同出展を行い、技術PRや新たな取引先の拡大を支援。

日 時：2024年4月19日(水)～21日(金)
会 場：東京ビッグサイト

No.	企業名
1	株式会社荒木製作所
2	株式会社カナエ
3	カーディナルヘルス株式会社
4	グンゼ株式会社
5	山陽電子工業株式会社
6	トクセン工業株式会社
7	福地製薬株式会社



医療機関と連携し、企業が病院現場を見学する機会を提供。診療科・部門ごとの業務フローや課題、使用される機器についての理解を促進する。見学後に医療従事者とのディスカッションも実施。

テーマ：手術、滅菌材料、人工透析

第1回(麻酔科：手術室)
11月15日(金)
16:30～18:30

＜プログラム＞

- ・麻酔科 レクチャー
- ・現場見学
- ・ディスカッション

＜参加者数＞

16名



第2回(看護部：中央材料室)
12月19日(木)
16:30～18:30

＜プログラム＞

- ・看護部 レクチャー
- ・現場見学
- ・ディスカッション

＜参加者数＞

15名



第3回(透析室：臨床工学室)
1月30日(木)
16:30～18:30

＜プログラム＞

- ・臨床工学室 レクチャー
- ・現場見学
- ・ディスカッション

＜参加者数＞

15名



日本発の医療機器の輸出促進を目的に、JICAと連携してバングラデシュのビジネス環境や日本企業の進出可能性、現地の医療ニーズ紹介などを行った。後日医療ニーズへの提案を募り、同病院のとのマッチングを行った。

開催概要

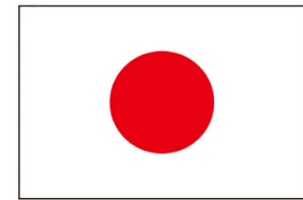
日時：2025年1月21日（火）14：00～15：40

会場：オンライン開催(zoom)

主催：大阪商工会議所、(独)国際協力機構（JICA）

共催：関西医療機器産業支援ネットワーク（事務局：近畿経済産業局）

独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部



プログラム

「バングラデシュにおける投資環境」

独立行政法人日本貿易振興機構 ダッカ事務所 所長 安藤 裕二 氏

「バングラデシュ医療事情」

シップインターナショナルホスピタル 取締役 河野 太志 氏

「バングラデシュにおける医療ニーズ発表＜日本の企業・製品・サービスに求めるもの＞」

GME Limited Executive Director ファルク・アーメド 氏

シップインターナショナルホスピタル 取締役 河野 太志 氏



＜バングラデシュ側登壇者らとオンライン接続＞

開催 結果

セミナーには**104名**が参加。マッチングは**10社**から提案があり、個別面談を実施し、事業化の検討を進める。

Overview

- MEDTECH ACTUATORは、2018年に豪州・メルボルン市を本拠地として活動を開始した非営利の医療・ヘルスケア専門のスタートアップ・アクセラレータ
- 世界中の企業に対し、グローバル市場における最適な出口戦略を実践的なプログラムを通じて指南することができるノウハウとネットワークを有する
- 2024年10月には大阪に日本拠点を開設

Partner



- 150を超える国内外のパートナーと連携

Mentor

診療科のKOL

医療従事者

企業人

起業家

法務専門家

エンジニア

- 約100名の外部メンター

Performance

200+

支援スタートアップ数

\$6.3B

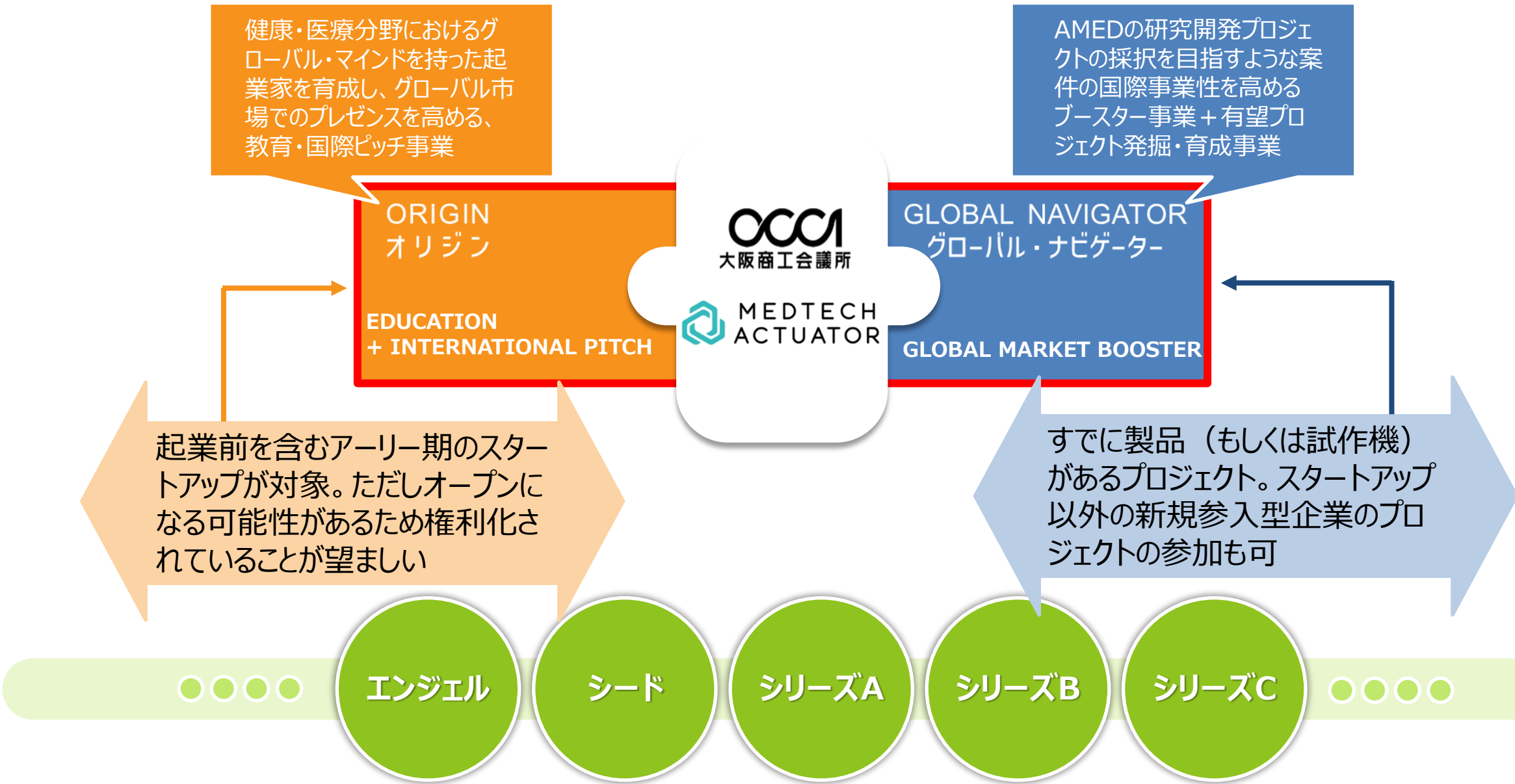
支援先の合計時価総額

\$1.2B

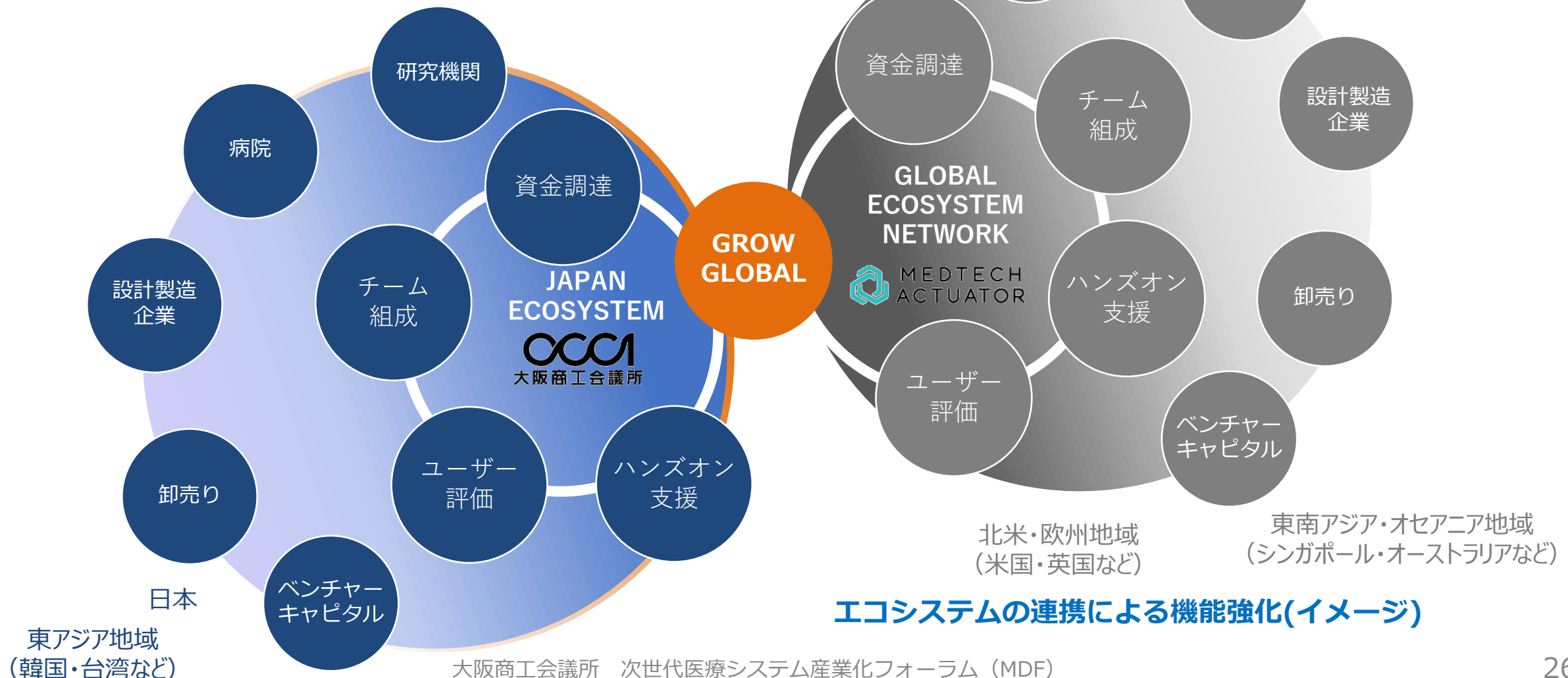
支援累計資金調達額



左:大阪商工会議所 副会頭 相良 暁
右:MEDTECH ACTUATOR CEO/最高経営責任者 バズ・パーマー 氏



メドテックアクチュエーターが持つ中小企業・スタートアップ企業支援の優れたノウハウと、大阪商工会議所の医工連携や事業化支援の経験、全国規模のネットワークを活かし、**医療・ヘルスケア分野のスタートアップ支援のためのグローバルエコシステムの構築**を目指す。



多様化する事業機会をとらえて、テーマごとに4つの分科会を設け、情報提供や交流・マッチングを実施する。

デジタル医療分科会（2018～）

急速に拡大するデジタルヘルス＝AI, IoT等のデジタル技術を駆使した健康・医療分野における課題解決 に関する取り組みを紹介



登録者数 677社1,726名（2025.3現在）

看護・在宅医療分科会（2019.5～）

規制対象となる医療機器のみならず、業務補助や生活支援も含む医療現場ニーズ商機を探る



登録者数 506社986名（2025.3現在）

介護・福祉分科会（2019.8～）

今後一層の人材不足が懸念される介護福祉分野の課題・動向を紹介する



登録者数 430社828名（2025.3現在）

再生医療等分科会（2019.9～）

再生医療等に関する課題やビジネス展開のヒントとなる取り組みを紹介する



登録者数 241社550名（2025.3現在）

各機関と連携協定を締結し、支援体制を強化

大阪・関西発の健康・医療分野におけるイノベーション創出を目指す

Nakanoshima Cross (一財)未来医療推進機構
未来医療国際拠点
(2024年8月締結)

関西圏におけるライフサイエンス産業のローカルネットワークの中心になるとともに、グローバルネットワークとの結節機能を担うことを目指す

JICA
(2022年8月締結)

(独)国際協力機構 関西センター
開発途上国における健康・保健・医療分野の課題解決につながる関連企業の海外進出を支援



大阪商工会議所
The Osaka Chamber of Commerce and Industry

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

3者間での連携 (2021年2月締結)

持続的に次世代の健康や予防、医療に貢献するプロジェクトや製品・サービス・システム等の創出に取り組む

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
(2018年3月締結)

持続的に医療現場ニーズに即した次世代の医療機器および医療システムの創出に取り組む

NIBIOHN 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY
(2016年4月締結)

大阪大学大学院医学系研究科・同附属病院
人材の育成・交流、学術研究の振興と研究成果の事業化、社会活用の推進を図る

AMED(日本医療研究開発機構)の「医工連携イノベーション推進事業(地域連携拠点自立化推進事業)」に採択(R3~4:地域連携拠点自立化推進タイプ、R5~6:医療機器実用化支援タイプ)。全国の経済産業局ブロックを対象に募集され、関西地域は大商が代表機関となり域内の支援機関等を取りまとめて申請・採択。

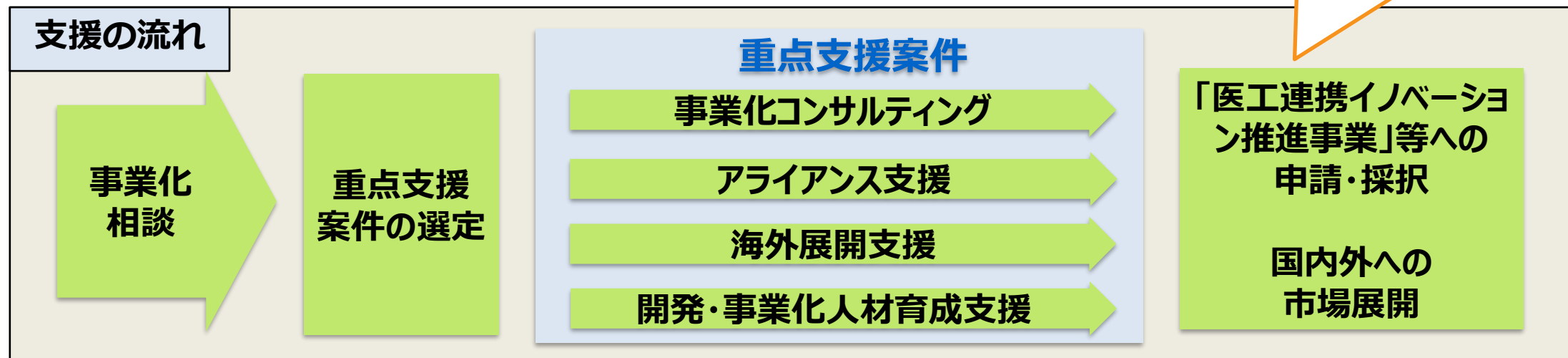
事業概要

- **高度な知識を有する事業化人材を地域の拠点に配置**し、地域の特色を活かしたニーズ・シーズの橋渡し活動等を通して医療機器開発プロジェクトを組み立てる。
- **事業化支援のためのコンサルティングや指導を行い、医療機器開発の支援を充実**させることで、**開発支援案件をAMED「医工連携イノベーション推進事業(開発・事業化事業)」の公募要件を満たす提案に育て上げる。**
- 中長期的に地域の取り組みが自立的に活動可能な支援体制を整備する。

関西地域連携拠点の取り組み

国内外の市場展開を見据えた「出口戦略」の立案・実行に対する**伴走支援を実施**。

2024年度実績：
国の公募事業に**5件採択**



MDFにおいてマッチングしたプロジェクトが 第7回 日本オープンイノベーション大賞※ 厚生労働大臣賞を受賞

● AIを用いた胎児不整脈診断支援システムの開発

共同研究者 国立循環器病研究センター（大阪府）、カナデビア(株)（大阪府）

概 要

胎児心不全の原因となる頻度の高い疾患の一つである胎児不整脈の診断を簡便に行える、世界初のAIを用いた胎児不整脈診断支援システムを開発。

目 的

- ・種類ごとに治療薬が異なり、また従来の診断方法では高い専門技術を要するために正確な診断が難しい場合もある胎児不整脈に対して、簡便で再現性が高い診断支援ツールを開発・実装。
- ・適切な専門医のいる施設への紹介やリモート診療等を可能とし、妊娠を希望する女性にとって安心安全な妊娠・分娩の提供に寄与する。

内 容

- ・国立循環器病研究センターでの専門的なニーズ、アイデアを実現するためMDFのマッチングを利用。
- ・これまで医療分野に関わる事業の経験のないカナデビア(株)が、自社の画像処理・AIオペレーションの技術を活用できると判断しマッチングが成立。従前にはないプレイヤーを巻き込んだ連携となった。

効 果

- ・すべての種類の胎児不整脈を簡便な超音波断面の動画のみで診断支援することができる世界初のシステムのプロトタイプが2024年に完成済み。
- ・社会実装のため、2024 年内に医師主導治験を開始し、2026 年までに薬事申請を予定。

※日本オープンイノベーション大賞：スタートアップや中小・大企業、大学、行政機関の連携など組織の壁を越えて新しい価値を生み出す「オープンイノベーション」の模範的な取組を政府が表彰。



ココが、**ポイント!**

世界初の開発プロジェクトであり、従来法での診断の難しさを解決する社会的意義の高い取組。
公的団体の行うマッチングを通じた、医療分野に初めて参画する企業との連携事例であり、連携の流れも含めロールモデルになる事が期待される。



心臓の4部屋を同定し、その心周期における面積の変化の違いから不整脈の種類を診断

これまで74件が事業化（上市等）

★その他、メディカル部門新設、分社化、業許可取得、雇用増等の波及効果あり

デジタルコルポスコープ

- ・開発企業：
（株）エスケーエレクトロニクス（京都府）
- ・連携機関：
加藤外科産婦人科・乳腺クリニック（愛知県）
- ・概要：
子宮頸がんの検診等で用いられる医療機器。
小規模な婦人科クリニックの診察室でも扱いやすい
小型で省スペースなデジタル式のコルポスコープ。
高倍率のカメラと高鮮度LEDで鮮明な診察が可能



スパイラルリトラクター

- ・開発企業：
（株）オーゼットケー（大阪府）
- ・連携機関：
国立病院機構四国がんセンター（愛媛県）
- ・概要：
乳がん手術において切開創に挿入して全周的な
視野の確保ができる開創器
- ・その他：
製造業許可を取得2020年度Medtec
イノベーション大賞「チャレンジ賞」受賞
“関西ものづくり新選2019”にノミネート



LED照明付プラスチック開創器

- ・開発企業：
安井（株）（宮城県）
- ・連携機関：
琉球大学医学部附属病院（沖縄県）
- ・概要：
先端の鉤部分が透明なプラスチックでできた
開創器。LED照明がついているため、開腹手術
などで体内の処置を行う際に、術野を明るくする
ことが可能
- ・その他：
2018年グッドデザイン賞受賞
海外展開拡大中



問い合わせ先

大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス振興担当
E-Mail : bio@osaka.cci.or.jp